



## 特集 秋の夜長、何を読む？

# Lib.

京都産業大学図書館報  
v.36, no.2 (Sep.15, 2009)

<貴重資料をデジタル公開します>	8
<情報の探し方>	9
<海外の図書館紹介>	10-11
<Lib. なび>	12-13
図書・雑誌・映画・音楽	
<教員文庫寄贈一覧>	14
<Information>	14-15
<司書のお仕事>	16

自著を語る

『信頼と安心の日本経済』

藤井 秀昭

『帝国・国家・ナショナリズム：世界史を衝き動かすもの』

木村 雅昭

『哲学と大学』

大河内 泰樹

『新型インフルエンザから家族を守る18の方法』

大槻 公一

特集

# 秋の夜長、 何を読む？

夏と秋とが行き交う空の通り路にも風が吹き始めたようです。読書に最適なこの季節、みなさんは読みたい本に出会えましたか？まだ出会えていないという方も心配はいりません。今回の特集は「秋の夜長、何を読む？」と題し、6月に行われた作家・平野啓一郎氏の講演会を手がかりに、読書の幅を広げる方法をお伝えします。秋の夜長にぴったりな、自分なりの一冊を探してみませんか。



平野 啓一郎氏 講演会

「小説のこの10年、今後の10年」

6月3日(水)午後。図書館ホールにて、第120回芥川賞を受賞した平野啓一郎氏の講演会が開かれ、約150名の参加者があった。テーマは「小説のこの10年、今後の10年」。

まず、平野氏は開口一番、「ぼくの場合、講演よりも質問のほうが盛り上がる」という軽いジョークから切り出し、氏が小説家になるまでの経緯を語った。それによると、少年のころはスポーツが好きであったが、中学で三島由紀夫の『金閣寺』に出会い、その小説のなかで「木の切り株のような顔」という表現にいたく感動した。それを機に小説に目を向けるようになる。

さらに高校に進むと、日本の作家以外にトーマス・マンの『トニオ・クレゲル』といった作品を好み、自分自身でも読書傾向の偏りを感じるようになる。つまり、自分自身を中心に学校や社会に対して疎外感、違和感といった感覚を抱く。そして、このことが自分自身の原点であり、また小説への原点である、と語った。

また最近の小説について、19世紀のようにストーリー性・ロマン性を楽しむのではなく、他者との関係において「人間とは？」を問いかけることが、小説の関心事になっている。とくに9・11事件以降、社会とのリンクが張り巡らされ、他者との関係や多様性によって「小説家が時代の声をあげるのは難しい」状況になってきている。

以前はいろんな作家が存在し、共存していた。しかし文学とは本来マイノリティーなものであり、またそれが作家のコアとなっている。

小説を書くにあたって大事なことは、①なにがしたいのか？(どうして伝えるのか)、②なにができるのか？、③なにをすべきか？といったことが大事である。平野氏自身も20歳のころは①②のみであったが、現在にいたっては③が加わる。そのことが読者との関係を近づけることになり、また作家のさじ加減ひとつで距離を縮めることができるからである。

最後に、低迷した出版界の話題となり、「たとえば100万冊のミリオンセラーがあった場合、1億分の1%をどのように考えるのか？」。数字としては少ないが、その下に隠されているものをみつめることが大事である、という言葉で講演を締めくくった。



講演会終了後、Lib.編集委員がインタビューをさせていただきました。書評を書くポイントなどお聞きしましたよ。



### 本日、講演された感想をお聞かせください。

平野：寝てる人が少ないなあ、まじめに聞いてくれたなと感心してました。

### 大学時代は図書館をどのように利用されましたか？

平野：トマス・アクィナスの『神学大全』とか全部図書館で読みました。自分ではとても買えなかったの。そういう意味では『日蝕』はかなり図書館のおかげで書いたような小説です。当時はまだネットで本を検索するとかいう感覚がなかったので、京都の古書店を自分の足で這いずり回って買って来て、後ろの文献目録とかを見て、また買ってということを繰り返していました。小説を書き始めた頃に初めて大学の図書館の蔵書検索に気がついて、なんて楽なんだと思って、それからかなり積極的にネット検索とかを活用するようになったんですね。大学の図書館を通じて全国の図書館の資料もよく使っていました。だから僕が芥川賞取った時には、僕のことを知らない多くの方は、「あ〜、図書館によくいた人」「司法試験の勉強でもしてるかと思ったけどそういうことしてたんだ」と思ったそうです。

### 書評を書くにあたり、気をつけていらっしゃることは？

平野：けなすことって結構簡単で、わかってない部分を批判してしまうと簡単なんですけど、何が面白いかっていうところをきちんと考えて書きたいと思っているんです。

図書新聞でこの前書いたエリアーデの書評（No. 2918 に掲載）は、はっきりとこの本を読んでもらいたいという意図で書きました。やっぱり虫の好かない本は基本的に引き受けない。この本を紹介したい！ここに注目すると面白いんじゃないかというところをなるべく書評では書くようにしています。

### 読者の感想で一番嬉しかった言葉はどんな言葉ですか？

平野：「読み出して止まらなかった」とかっていうのは嬉しいですね。やっぱり読み物なので、そうじゃないとな、と思っています。『決壊』なんか結構重い話ですけど、最後まで一気に読んでってという読者が多かったのもそれは嬉しいですね。



### 平野 啓一郎（ひらの けいいちろう）

1975年愛知県生まれ。1999年京都大学法学部在学中に『日蝕』で第120回芥川賞受賞。近著に、『本の読み方 スロー・リーディングの実践』、『小説の読み方 感想が語れる着眼点』（ともにPHP新書）や『決壊』など。2009年7月には新作長篇小説『ドーン』を刊行。

何を読む？

# 作家たちの “心に残る一冊”

～図書館書評大賞 講演会より～

## 平野 啓一郎

※プロフィールは p3 に掲載  
2009 年 本学図書館にて講演。

「三島由紀夫が入り口だったのは自分にとって運がよかった。『金閣寺』は、学校の先生が薦めたがるような『読まなきゃいけない本』じゃなくて、初めて“文学はおもしろい！”って思った作品だった。」

(2009 年 6 月 3 日 書評大賞講演会より)

平野氏は、『金閣寺』は“世界と自分との違和感”がテーマだと分析した。この作品との出会いを境に自ら小説を開拓していくようになったという。

## 朱川 湊人

1963 年 大阪府生まれ。  
2005 年 『花まんま』で第 133 回直木賞を受賞。  
2008 年 本学図書館にて講演。

「中学三年生のときに、太宰治の本に出会った。読んでみるとすっかり太宰治の世界にはまってしまい、特に『人間失格』は、“この本は君のために書いたからね”と太宰に肩をたたかれた気がした。」

(2008 年 6 月 18 日 書評大賞講演会より)

朱川氏はこの本がきっかけで、この頃から小説を書き始め、小説家を目指すこととなった。朱川氏にとって人生を変えるほど影響を受けた本である。

## モブ・ノリオ

1970 年 奈良県生まれ。  
2004 年 デビュー作『介護入門』で第 131 回芥川賞を受賞。  
2007 年 本学図書館にて講演。

「中学時代に出会った筒井康隆さんの作品によって、ずいぶん人生を狂わされたというか、いいほうに導いてもらったおかげで今があると思っています。」

(2007 年 6 月 20 日 書評大賞講演会より)

モブ・ノリオ氏は中学生のときの文集に将来の夢として「筒井康隆さんのような小説家になりたい。」と書いたという。その後、紆余曲折を経て芥川賞作家となる氏の原点となったのが筒井康隆の数多くの短編小説であった。

著名な作家たちにも学生時代に読んで、読書にはまるきっかけとなった本や、今も忘れられない本があるはずです。

ここでは本学図書館で毎年行っている、「図書館書評大賞 講演会」の中で作家の方が紹介された、“心に残る一冊”を振り返ってみました。どれも名作ばかりですが、未読の方はこの機会にぜひ手に取ってみてはいかがでしょうか。



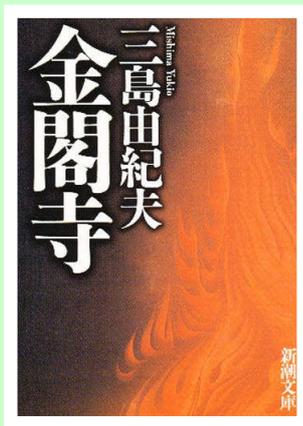
### 『金閣寺』

三島由紀夫著，新潮社，2006

(913.6 || MIS 2階 文庫)

「1950年7月1日 国宝・金閣寺焼失，放火犯は寺の青年僧」この衝撃的な放火事件の枠組みはそのまま取り入れながら，主人公の思想や想念はオリジナルの世界を描いている。

若者はなぜ金閣寺を炎上させたのか。きらびやかな文体・飛躍する比喩。“三島美学”が見事に構築された作品。



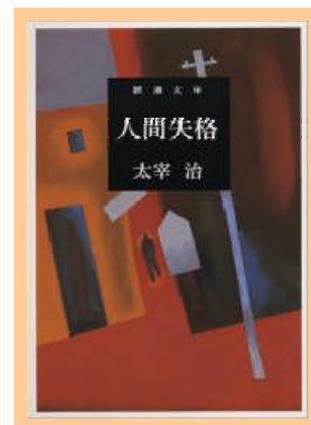
### 『人間失格』

太宰治著，新潮社，2006

(913.6 || DAZ 2階 文庫)

世間というものを恐れて自分を偽り，人を欺き，過ちを犯して人間失格の判定を自ら下した男の話。太宰治の実生活を投影した自叙伝的作品と位置づけられている。

今年には太宰治の生誕100年を記念して，代表作の初めての映画化が決定した。(2010年初春より全国公開予定)



### 『農協月へ行く』

筒井康隆著，角川書店，1973

(913.6 || TUT 2階)

標題作は海外旅行が一般的になってきた当時の雰囲気やブラック・ユーモアを交えてよく描いており，オイルショック直前，高度成長期の日本の自画像とも読み取れる。また，小松左京の『日本沈没』のパロディとして執筆された『日本以外全部沈没』(2006年に映画化)も収録されており，筒井ワールド初期の珠玉の短編集といえる。



# 著名人による 読書術

「第5回京都産業大学図書館書評大賞」講演会の講師、平野啓一郎氏や、著名な作家、評論家らによる読書についての著作を集めてみました。どんなふうに読めばいいのかな、何を読もうかな、と思ったとき、手にしてみてください。

これらの本も、図書館であなたを待っています。

(紙面の関係で、一部請求記号の記載がないものは、蔵書検索 EZ-Cat で探してください。)

『本の読み方：スロー・リーディングの実践』 平野啓一郎著，PHP 研究所，2006

(019.12||HIR 2階)



本を読むのは遅い方がよい？

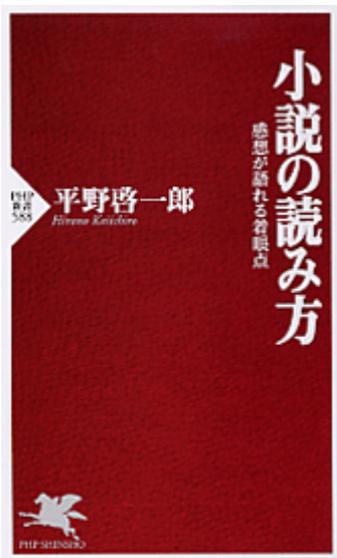
本書は、スロー・リーディングの基礎、テクニック、実践についてわかりやすくまとめています。

「作者の意図」を考えながら読むことが重要で「遅読」こそ「知読」である、同じ本を何度も読んでみることで毎回新しい発見があるなど、本とじっくり向き合う方法が満載です。また、重要なポイントは太字で記されてわかりやすいです。

実践編では、夏目漱石『こころ』や三島由紀夫『金閣寺』、自作の『葬送』など8作品を取り上げ、「作者の意図」を読み解くポイントを具体的に示されているため、他の本を読む際にも参考になると思います。

『小説の読み方：感想が語れる着眼点』 平野啓一郎著，PHP 研究所，2009

(901.3||HIR 2階)



上の『本の読み方』の続編で、2部構成になっています。

「第1部 小説を読むための準備—基礎編」では、小説の語義の確認から始まり、小説はどのような書かれ方をされているか、その構造について述べています。また、小説のジャンル分けは「それほどスッキリと分類されるわけでもなく、弊害が多い」が、読者が求めている本と出合うために「なければ困る」ものでもあるといます。

「第2部 どこを見て、何を語るか—実践編」では、現代の純文学やミステリー、ケータイ小説も含めた9作品を取り上げています。日頃よく目にする作品ばかりなので、みなさんもすでに読んだことがあるかもしれませんね。この本を読んだから、あらためて読み直してみるのもよいでしょう。

## 『博士の愛した数式』の著者によるブックガイド



### 『心と響き合う読書案内』

小川洋子著

芥川賞受賞作家でもある著者は、毎週ラジオ番組で「未来に残したい文学遺産」を紹介しています。その番組1年間分をまとめた本書では、日本の古典文学から現代小説、海外文学を季節に合わせて紹介しています。このラジオ番組が再読の喜びを知るきっかけにもなったという著者。子どもの頃に読んだ懐かしい本の新たな発見も楽しいですね。

## 『声に出して読みたい日本語』

### の著者による読書術



### 『読書入門：人間の器を大きくする名著』

斎藤孝著

小説だけでなく、評伝やノンフィクション、絵本に落語まで様々なジャンルの本を引用文とともに紹介しています。「それらのなかの、小さな断片があなたの心に長く残るとすれば、それはきっと、あなたという人間の糧となり、人間の器を大きくすることでしょう」と著者は言います。あなたも心を揺さぶられる本が見つかるかもしれません！！

## いま注目を集める経済評論家の読書論など



### 『読書進化論：人はウェブで変わるのか。本はウェブに負けたのか』

勝間和代著

三児の母であり経済評論家（兼公認会計士）でもある著者が、ウェブと本の両方をどのように活かして使い分けるかについて書いています。本で成功と自由を手に入れた経験に基づいて、「読みたい」「書きたい」「売りたい」と思っている人たちへのガイドを提供しています。読む以外にも興味がある方にはオススメの一冊です。

## 昨年亡くなった著名な評論家の読書術



### 『読書術』

加藤周一著

「精読術」「速読術」「読書術」「解読術」「看破術」「読破術」。本を読むには、多くの読み方があります。しかし、これといった読み方が決まっているわけではありません。ただし、次のようなことはいえるのではないのでしょうか。

「読書の愉しみとは、これはひとりでもできる愉しみです。また、体力とはほとんど関係ない。しかもカネがかからない。読書の愉しみは無限です。人生は短く、面白そうな本は多し」と。

## 『週刊朝日』所載の書評

『春も秋も本！』 すべて

『ベッドでも本！』 週刊朝日編、

『本が待ってる！』 朝日新聞社、1993

(019.1 | SYU 2階)

じつに多くの書評が掲載されています。また、その期間も1951（昭和26）年から1991（平成3）年までの40年もの長きにわたるものを、3冊に分冊して発行されています。

ちなみに、掲載された『週刊朝日』所載の書評「週刊図書館」は、書評12,000本、コラム・ミニ書評4,000本とあり、そのなかの1割のみを収録した、というのですから驚きです。また、その書評にあたっては丸谷才一・秋山駿をはじめ、各界の著名な文化ジャーナリストが名をつらねています。

## 雑誌の特集もあります！

週刊東洋経済 2008/6/21 増大号

東洋経済新報社 (330TAZ:ET1 地下1階)

最強の「読書術」 どう探し、読んで、活かすか！

6人の読書の達人、本田直之、勝間和代、佐藤優、三輪裕範、斎藤孝、池田信夫が自らの「読書」について語ります。この中に知っている名前があるなら是非一読してみてください。また、陥りがちな読書始めのハードルの対処法が、4つのケーススタディに分けて掲載されています。読書ビギナーの方はもちろん、読書に慣れてきてステップアップを考えている方にも参考になる特集記事です。



『賀茂神事』より

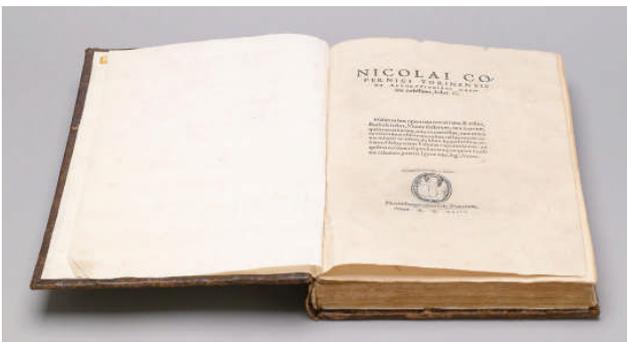
# 貴重資料をデジタル公開します

今年度秋から、本学図書館所蔵の貴重資料をデジタル化し公開します。

現在、貴重資料・準貴重資料は、温湿コントロール万全の貴重書庫に収められています。

なかなか眼に触れることがかなわない貴重資料もYahoo!やGoogleからも検索できる電子的な学術情報資源として公開すれば、劣化もせず、拡大・縮小も自由自在に、ページをめくったり絵巻を広げるように、いつでも誰でもどこからでもご覧いただけます。

また、貴重な学術資産・資料を広く公開することは、重要な「大学の社会貢献」のひとつです。



『Nicolai Copernici Torinensis  
De revolutionibus orbium coelestium』

そこで第1弾として、コペルニクスの『天球の回転について』（1543年） Nicolai Copernici Torinensis De revolutionibus orbium coelestium と、『賀茂神事 伝土佐光起画』を公開することになりました。

『天球の回転について』は学祖 荒木俊馬博士ゆかりの図書です。荒木先生は、「コペルニクス生誕500年」にポーランド科学アカデミーの招待を受け、講演をされました。また、今年は国際天文年、ガリレオが望遠鏡で天体観測をしてからちょうど400年にあたり、京都産業大学では、「建学の精神」のシンボルとして、天文台が完成する年でもあります。

他方、『賀茂神事』は土佐光起の絵と伝えられ、非常に美しい奈良絵巻のひとつです。上470cm、下472cmの卷子2巻で、金銀泥極彩色で彩色され、「巻物 賀茂神事 土佐光起真跡」の極札が付いています。

同時に、日本文化研究所でデジタル化された館蔵の『賀茂葵祭行装ノ図』などの賀茂関係資料25点（準貴重資料を含む）もあわせて公開する予定です。

次年度以降も、国内でも有数のコレクションとして評価の高い天文関係貴重書と賀茂関係資料を中心に、順次公開していく予定です。ご期待ください。



『賀茂葵祭行装ノ図』より

# 情報の探し方

このコーナーでは、現在導入しているデータベースの検索ツール等を紹介しします。

## 17 契約データベース紹介



ブリタニカ・オンライン・ジャパンは、「ブリタニカ国際大百科事典」と「ブリタニカ国際年鑑」を統合したもので、15万件以上の項目、1万点以上の写真・図版などを収録しています。各項目からハイパーリンクをたどって関連項目を参照したり、関連サイトへ接続する機能もあります。

ブリタニカ・オンライン・ジャパンには、図書館ホームページ>記事・データベース検索>データベース一覧(事典・辞典)からアクセスできます。



ホーム画面は5つ(項目名検索、閲覧メニュー、きょうは何の日?、ブリタニカ・ハイライト、グローバル・レファレンスセンター)に分かれています。

大きく分けて「情報の検索」と「情報の閲覧」の二つの調べ方があります。

### 1. 情報の検索

調べたい項目がある場合は、常にページの上部に表示されている検索ボックスに調べたいことばを入力して「検索」をクリックします。

**項目名検索** 本学・益川敏英教授について調べます。  
⇒ますかわとしひで(よみで検索)

検索結果は小項目事典、大項目事典、国際年鑑の別に表示されます。デフォルトで小項目事典の検索結果が表示されるようになっています。大項目事典、国際

年鑑の記事を読むにはページ左のそれぞれの事典名をクリックすると記事の一覧が表示されます。読みたい記事のタイトルをクリックしてください。

### 2. 情報の閲覧(閲覧メニュー)

小項目事典トピックスではテーマ別に記事を、大項目事典人名項目では歴史上の人物を分野別に検索できます。項目をクリックし選択することにより調べていきます。国際年表では歴史上の重要な出来事をリストアップ。関連項目にリンクしています。

#### 小項目事典 トピックス

例) ガラパゴス諸島について調べる。

⇒項目「世界遺産」⇒項目「南北アメリカ地域」⇒エクアドル にあり

画面下側の「ブリタニカ オンラインへの関連項目」をクリックすると、Britannica Online※へリンクされており、「Galapagos Islands」の項目を表示します。

#### 大項目事典 人名項目

例) ダーウィンについて調べる。

五十音別 た〜と ⇒一覧より項目を選択

「ダーウィン」の詳細表示画面 左側に項目「おいたち」「ビーグル号の航海」「種の起源」等や Britannica Online※へのリンクがあります。

ほかにも、国際年表(時代別・地域別に構成した年表)や国際年鑑 特別寄稿・特別リポート(国際年鑑に掲載された特集記事)など閲覧できます。

#### きょうは何の日?

その日に起こった過去の出来事とその日生まれた人物を紹介しています。

#### ブリタニカ・ハイライト

ブリタニカの記事から読み物として特にお勧めのものを月替わりで紹介しています。

#### グローバル・レファレンスセンター

日本語、英語以外にも中国語、韓国語、スペイン語、フランス語の百科事典の利用が可能です。どうぞご利用ください。

※Britannica Online 1768年の初版以来、世界中で最も有名な百科事典として知られてきたブリタニカ百科事典のWeb版。21万5千件以上の項目と11万8千件以上の記事、1万4千点以上の写真・図版等を収録し、Web上で検索・閲覧できます。

# 海外の図書館紹介

## 海外から見る日本

### 図書館で出会う日本

University of Pittsburgh, Hillman Library.  
East Asian Library.

(アメリカ合衆国)

芦立 秀朗

2008年8月よりアメリカ合衆国ペンシルバニア州にあるピッツバーグ大学政治学部で在外研究をしています。ピッツバーグは市内の人口約30万人で、昔は鉄鋼の町として栄えましたが、1980年代の不況を契機に今ではIT産業に重点を移してきています。ピッツバーグという市名を聞いてもピンとこない皆さんも多いかと思いますが、実は2009年はピッツバーグの年と言っても過言ではありません。アメリカで人気のあるスポーツと言えば、アメリカンフットボール、野球、アイスホッケーなどですが、2月のスーパーボウルではピッツバーグ・スティーラーズが劇的な逆転勝利でアメフト全米一となり、6月にはアイスホッケーでもピッツバーグ・ペンギンズが優勝をおさめました。一つの都市が同じ年に複数のスポーツの王者になるのは珍しいことです。ちなみにピッツバーグ・パイレーツが強かった1979年には野球とアメフトで二冠を達成しました。私がお世話になった政治学部のあるポスパー・ホールはパイレーツの球場跡地に建てられており、1階には当時のホームベースが展示されています。今年9月下旬にはG20サミットが開催される予定であり、世界中からやってくる関係者を迎える準備に大忙しです。

私がこの街で研究をするのは初めてではありません。2001年8月から2004年1月まで同じ大学で大学院生

活を送っていました。その時からお世話になっていたのが、今回紹介させて頂くヒルマン図書館です。

この図書館はキャンパスのほぼ中央に位置している、ピッツバーグ大学内で最大規模の図書館です(写真1手前の建物。後ろは先程紹介したポスパー・ホールです)。地上4階地下1階の大きな建物の中には、蔵書が150万冊収められている他、蔵書検索専用のものも含めてパソコン機器が200台備えられています(以下、蔵書数などのデータは2009年夏現在のHPの情報によります)。個人学習用の机の他に、グループ学習用のテーブルや学習室等、1500人が勉強できるスペースが確保されています。月曜から木曜までは朝8時から深夜2時まで、金曜は朝8時から夜10時まで、土曜は朝9時から夜12時まで、日曜は朝10時から深夜2時まで開いています。もともと、期末試験期間は24時間開館となり、試験勉強のために夜遅くまで学生が残っている風景を目にします。睡魔と闘いながら頑張る学生のためにコーヒー等の飲み物の無料サービスがあること



写真1 ヒルマン図書館

もあります。大学関係者でないと本は持ち出せませんが、図書館に入ることは誰でも可能です。ランチ後に新聞を読むご老人も見かけますし、近隣住民の皆さんの憩いの場ともなっています。

他にユニークなものとして、「2時間貸出し」という

制度があります。これはできるだけ多くの学生の皆さんが教科書・参考書を読めるように考え出された工夫です。予め先生方が図書館所蔵の教科書・参考書を「コース・リザーブ」に指定し窓口に預け、学生は窓口の職員さんをお願いし2時間館内閲覧させてもらうという仕組みになっています。本を館外に持ち出すとブザーが鳴りますし、制限時間を超えると罰金が科せられるので、学生はその2時間の中で必要な部分を速読するなり、複写するなりする訳です。私も授業を受けていた時には2時間でいかに文献の内容を咀嚼するか必死でした。

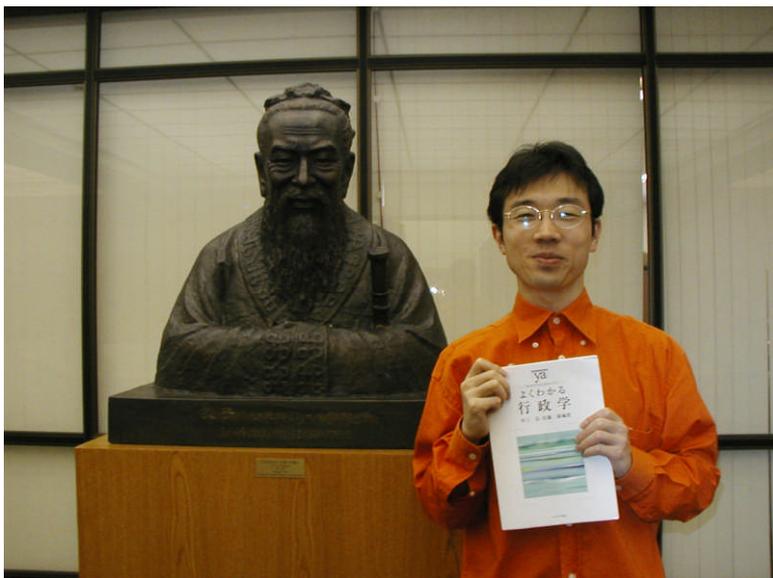


写真2 著者（孔子像前で）

さて、ヒルマン図書館は African American Collection など「コレクション」や「図書館」と呼ばれるコーナー・文庫をいくつか抱えています。以下で詳しくお話する「East Asian Library（東アジア図書館）」はこのヒルマン図書館の二階にあるコーナーです。階段を上がるとホールに置かれた孔子像が訪問客を迎えてくれます（写真2）。読んで字の如く東アジア図書館には日本、中国、韓国の原語の文献が多数収められています。1960年に中国語文献を所蔵するコーナーとしてスタートして5年後に日本語文献の収集も始めました（韓国語文献に関しては2000年からとのこと）。2008年6月現在、日本語文献は書物に限っても12万冊以上、この他に271の定期刊行雑誌、新聞5紙などを所蔵し、日本語文献の図書館としては北米で15位の規模を誇ります（写真3は東アジア図書館から眺めた1階学習スペースの様子）。以前、他の大学からいらっしゃったアメリカ人の日本研究者をご案内したことがありますが、日本語文献の豊富さに感動されていました。

所蔵されている文献の分野は多岐にわたり、政治経済、文化・芸能、郷土史などタイトルを眺めるだけでもあっという間に時間が過ぎます。本学の先生方の御著作も何冊か所蔵されていて、懐かしく思いました。ちょうど私が共同執筆した教科書が出版されたので、ピッツバーグ大学へのお礼とこれから学びに来る多くの日本人・日本研究者の為に献本させて頂きました。東アジア図書館がユニークなのは、多くの「硬い」本に加えて、女性誌などの週刊誌まで資料として所蔵されていることです。私の研究ではそういった文献を役立てる直接の機会はありませんでしたし、インターネットで日本の情報を見ることはもちろん可能ですが、遠く離れたアメリカで日本の情報に紙媒体で触れることができるのは大変ありがたい環境です。

電子媒体でも最近では朝日新聞記事検索用の「聞蔵」（京都産業大学でも使えますね、皆さんは使ったことがありますか？）を使えるようになり、日本の事例研究もする必要がある私には大変ありがたかったです。それ以外にも東アジア図書館・日本情報センターの職員の方々が、日本に関する情報の検索方法を丁寧に教えて下さいます。

図書館で得た情報を活用しながら日本についての文章も執筆してきました。日本で当たり前なことでも英語で表現しようとするとは異なるニュアンスになり、書いている自分が驚いてしまうことがあります。海外にいと客観的に日本を見るという作業をより多く行えます。皆さんも一歩踏み出してみてはいかがでしょうか。そしてその街の図書館を覗いてみてはいかがでしょうか。

図書館で得た情報を活用しながら日本についての文章も執筆してきました。日本で

当たり前なことでも英語で表現しようとするとは異なるニュアンスになり、書いている自分が驚いてしまうことがあります。海外にいと客観的に日本を見るという作業をより多く行えます。皆さんも一歩踏み出してみてはいかがでしょうか。そしてその街の図書館を覗いてみてはいかがでしょうか。

（あしたて ひであき 法学部教員）



写真3 東アジア図書館

文

書

## 第七官界彷徨

高校時代いっしょに文芸誌を作っていた親友とは、それぞれ別の大学に進んだあとも、しょっちゅうお互いの下宿を行き来していた。小説家を目指していたその友人は大変な読書家で、会えばきままって今読んでいる本の話になった。ある時、「尾崎翠はすごい。『第七官界彷徨』を読んでみる」としきりに勧めるので、当時、創樹社から出たばかりの『尾崎翠全集（全一卷）』を彼から借りて読んでみた。

以来三十年、尾崎翠は私にとつてずっと掛け替えない作家であり続けている。その代表作『第七官界彷徨』は何度読み直したことだろう。詩情とユーモアと哀愁にみちた驚くべき文体に引き込まれ、ページを開けばつい読みふけてしまうのだ。

この小説の書き出しはこうだ。「よほど遠い過去のこと、秋から冬にかけての短い期間を、私は、変な家庭の一員として過ごした。そしてそのあいだに私はひとつの恋をしたようである。」語り手は「ひどく赤いちぢれ毛をもった一人の痩せた娘」。彼



913.6||OZA / 2階

『第七官界彷徨』

尾崎 翠著 河出文庫

女が精神科医の長兄、大学生の次兄、予備校生の従兄弟とともに一軒家で暮らし始めるところから物語は始まる。大学生の皆さんならきつと共感できるだろう。

外国語学部 教員

河原地 英武（かわらじ ひでたけ）

# Lib.

## 神山人から

## ビッグイシュー日本版

雑

誌

「ホームレス」この言葉を聞いてあなたは何を思いますか？

あなたがこの雑誌を手にしたとき、ホームレスが形容するマイナスイメージを劇的に変化させると誓います。

いつもの街角で、『ビッグイシュー』を持った人の姿を目にしたことはありませんか？彼らこそが、ビッグイシュー販売者の「ホームレス」です。

2003年に英国から日本へやってきた『THE BIG ISSUE』は音楽から社会問題まで幅広いトピックを展開する、ホームレスの自立支援を目的とした雑誌です。

販売者は雑誌を三百円で販売し、一冊当たり百六十円の収入を得る仕組みで、私たちは彼らを介してのみ購入できます。

私は一番初めの購入時、戸惑いました。少し怖かった。けれども、おじさんは底抜けに明るくて、「働くこと」への強い意欲や「生きること」へのエネルギーを感じ、震撼させられたのを今でも強く覚えて

ています。

仕事に誇りを持ち、人と人との関わりを大切に思う原点を、私たちが彼らから学ぶ意義は大きいと思います。それと同時に、笑顔の背後にある、社会構造の歪みをダイレクトに感じます。彼らのひたむきな姿こそが社会へ、あなたへ問いかけています。なんとなくフリーペーパーを受けとり、どこかにやっつけてしまう…そんな時代。あなたには、ビッグイシューを手にして欲しい。

法学部 三年次生

行元 沙弥（ゆきもと さや）

『ビッグイシュー日本版』

有限会社ビッグイシュー日本



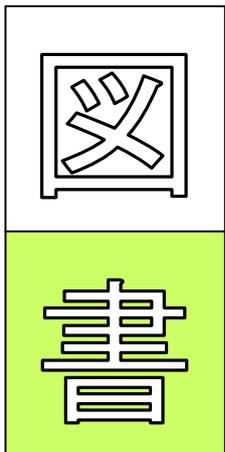
368BAA3 / 2階 雑誌

皆さんは、「武士道」と「騎士道」をどう区別するだろうか。私には、区別するのが難しい。

私は、2008年に開かれた北京五輪のフェンシング、フルールで銀メダルに輝いた、太田雄貴選手の『騎士の十戒』で、騎士とは何かを教わった。騎士の十戒とは、正義、勇気、慈愛、高潔、誠実、自制心、礼節、統率力、忠誠、清貧である。どの言葉も武士道と共通することが分かる。そして思ったことは、この十の言葉通りに行動することが難しいということだ。

太田選手は、この十戒がかみ合ったからこそ、五輪で世界の強豪相手を破り、見事に最高の結果が出せた事が、この本を読んだ理解できた。十戒が揃うためには、幼い頃から著者の努力、苦勞、そして、楽しむ心がなければ、騎士精神の必要なフェンシングを続けることが難しかっただろう。また、それはどの分野においても、そうだと思う。

## 騎士の十戒



ちなみに、私は幼い頃から不器用で、何をやるにも人より出来なくて、何度も挫折そうになった。しかし、私は、一つの壁を乗り越えていくことによって、人間的に大きくなれることを、太田選手の本を読んだ、改めて感じた。

一度、図書館でこの本を探して読んで頂いたら、私の感想がわかってもらえるだろう。そして、最後に私は言いたい。人間は騎士の十戒通りになるのは難しいが、どれか一つでも長所があれば、何か好きなものに打ち込めることを。

法学部 一年次生

武藤 崇史(むとう たかし)

『騎士の十戒』

太田 雄貴著 角川書店



789.39|OOT / 2階

# なび

## のオススメ!

1974年、インド・コルカタの学生ガングリーは列車事故に遭い、九死に一生を得る。彼の命を救ったのは、ニコライ・ゴリ著の「外套」を握りしめていたからだ。事故の直前に親しくなった老人から受けた海外に出て経験を積めとのアドバイスに従い、アメリカの大学へ。そして親の進める見合いで結婚し、家族に祝福されながら、ニューヨークでの生活を始める。妻はやがて妊娠、生まれてきた男の子に「ゴリ」と名付けた。数年後、アメリカで成長したゴリはロシアの偏屈作家である自分の名前にコンプレックスを抱き、またインドの生活を大切にする両親にも反発を覚え……。

ミーラ・ナーイル監督; ジュンパ・ラヒリ原作  
2008年 アメリカインド映画 (123分)



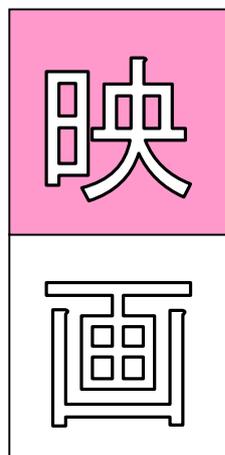
[DVD] 778.253|NAI / 1階

アメリカの対比が描かれているのも見どころの一つです。原作はジュンパ・ラヒリの同名の小説です。映画にも出てくるゴリの不思議な世界観の著作ともども、こちらもぜひ読んでみてください。

経理部 事務職員

椿 俊紀(つばき としのり)

## その名にちなんで



# 教員文庫寄贈一覧

寄贈順 (4/1～8/31) 敬称略

## 植村 和秀 (法学部)

『大学批判の歴史社会学：知識人的公共圏の成立と変容』 京都大学大学院教育学研究科，2008 (執筆)

## 木村 雅昭 (法学部)

『帝国・国家・ナショナリズム：世界史を衝き動かすもの』 ミネルヴァ書房，2009

## 藤井 秀昭 (経済学部)

『環境経済学入門』 日本評論社，2002 (共訳)

『エネルギー産業の変革』 NTT 出版，2004 (執筆)

『東アジアのエネルギーセキュリティ戦略：持続可能な発展に向けて』 NTT 出版，2005

『ロード・プライシング：理論と政策』 勁草書房，2007 (執筆)

『信頼と安心の日本経済』 勁草書房，2008 (執筆)

『Rethinking energy security in East Asia』 Japan Center for International Exchange，2002 (執筆)

『アジア経済発展のアキレス腱：資源枯渇と環境破壊』 文眞堂，2008 (執筆)

## 大河内 泰樹 (文化学部)

『哲学と大学』 未来社，2009 (執筆)

『Ontologie und Reflexionsbestimmungen：zur Genealogie der Wesenslogik Hegels』 Königshausen & Neumann，2008

## 中井 透 (経営学部)

『スモールビジネスの財務哲学と大学』 中央経済社，2009 (執筆)

## 大木 裕子 (経営学部)

『クレモナのヴァイオリン工房：北イタリアの産業クラスターにおける技術継承とイノベーション』 文眞堂，2009

『ケースに学ぶソーシャル・マネジメント』 文眞堂，2009 (執筆)

## 大槻 公一 (工学部)

『新型インフルエンザから家族を守る 18 の方法』 青春出版社，2008 (編著)

## 川又 啓子 (経営学部)

『マーケティング科学の方法論』 白桃書房，2009 (編著)

## 中野 智世 (経営学部)

『ドイツ近現代ジェンダー史入門』 青木書店，2009 (執筆)

『Familienfürsorge in der Weimarer Republik：Das Beispiel Düsseldorf』 Droste，2009

## 矢野 道雄 (文化学部)

『Ganitasarakamudi：the moonlight of the essence of mathematics』 Manohar，2009 (執筆)

# Information

## 👉 秋学期の図書館利用教育計画

### ◆ 法学情報検索法 (クラス単位)

法学部 1 年次生対象に選択科目「プレップセミナー」の授業の 1 コマで実施します。

主な内容は、法学文献・情報の探し方 (入門編)、法学関係データベースの検索実習です。

### ◆ ゼミ対象文献探索ガイダンス (クラス単位)

春学期に引き続き実施、ゼミのテーマに合わせた文献探索法の説明とデータベース検索実習。

### ◆ 「レポート・論文作成法」ガイダンス (個人単位)

《ビデオ上映会》

レポートや論文を書くときの具体的な手順をドラマ形式で紹介したビデオを上映します。

○期間：11月24日(火)～12月11日(金)

※ただし、土曜日は上映しません。

○時間：各日 1 回 12:30～(約 30 分所要)

○会場：図書館 1 階 図書館ホール

\* 事前申込みは不要。ご自由にご覧ください。

《検索実習》

レポートや論文を書くときに必要な参考文献を探すのに必須の「雑誌記事索引」データベースの検索実習を行います。

○日程：12月7日(月)，9日(水)，11日(金)，15日(火)，17日(木)

○時間：各日 12:30～13:00

○集合場所：図書館 1 階グループ視聴覚室 102

○申込場所：図書館 1 階視聴覚カウンター

\* 各日とも先着 20 名まで

### ◆ 就職支援ガイダンス (個人単位)

就職活動に役立つ業界の動向や個別企業の情報がわかります。日程等は図書館 HP、POST、館内掲示でご案内します。

## 👉 (予告)「第 5 回図書館書評大賞」の選考・表彰

9 月 30 日(水)で応募を締め切ります。この記事を締め切り後に読んだあなた。来年こそは応募してくださいね。

選考・表彰に関する今後の日程は、次の通りです。

○入選発表：12月2日(水) 10 時

図書館内に掲示。POST、図書館ホームページに掲載。

○表彰式：12月16日(水) 12 時 30 分～  
5 号館ロビーで開催

\* 『Lib.: 京都産業大学図書館報』v. 36, 増刊号に入選作品と講評を掲載します。

## 👉 (案内) ハート・ウォーミング・プログラム 映画上映会

春学期に引き続き秋学期も数回、木曜日の 16 時 40 分から、図書館ホールにて上映予定です。日程、タイトル等は図書館 HP, POST, 学内掲示板, 館内掲示でご確認ください。

## 👉 (案内) 「ダーウィンと進化論展」 9/30 まで!

(チャールズ・ダーウィン生誕 200 周年,  
『種の起源』刊行 150 周年記念)

ダーウィンの生涯と著作, ダーウィンに影響を与えた人物や作品, さらにダーウィン以降のさまざまな進化論に関する資料等を紹介しています。

皆さんも, ダーウィンと進化論の軌跡をたどってみてはいかがでしょうか。

- 期間: 7月7日(火) ~ 9月30日(水)
- 会場: 図書館1階パソコン室展示スペース  
および2階新聞・雑誌コーナー

## <次回図書館展示企画>

日蘭通商 400 周年を記念して, 江戸時代のオランダ貿易, 蘭学, オランダ文化などに関連した展示を行う予定です。

詳細は後日図書館 HP・掲示板等でお知らせします。

- 期間: 11月4日(水) ~ 12月5日(土) (予定)
- 会場: 図書館1階パソコン室展示スペース等

## 👉 SAN-DAI Extensive Reading

### (レベル分けされた指定図書) について

1 年次生のための上記指定図書は大変利用が集中しますので, 秋学期も以下のようにご利用ください。

- 貸出期限は 1 週間
- 1 人 1 冊まで

貸出期限の延長や図書館 Web サービスでの貸出更新もできません。



## 👉 「日国オンライン」の利用方法変更について

『日本国語大辞典』のオンライン版である「日国オンライン」は, 「JapanKnowledge+ (ジャパンナレッジ プラス)」に統合され, そのコンテンツのひとつとなりました。

そのため, 利用方法が以下のように変更になりました。

①図書館 Web ページの「データベース一覧」から「JapanKnowledge+」にアクセス。

②右上の「ログイン」ボタンをクリック。

③「JapanKnowledge+」のページ右側「OneLook コンテンツ」の「日本国語大辞典」右側の「個別」ボタンをクリック。

これで以前の「日国オンライン」とほとんど同じ検索画面が表示されます。どうぞご利用ください。

## 👉 教員論文コーナー展示中

図書館 2 階雑誌コーナーに, 国内外の学術誌へ投稿された本学教員の論文を展示しています。学内刊行物 (論集・紀要) と並んでおり, 教員の研究動向がわかります。ゼミの選択や大学院進学の参考にご利用ください。



## 👉 館内設備が改善されました

- ◆コンテナサーバー増設工事が完了しました。これによりマイクロフィルム 10 万リールを保存・提供できます。
- ◆地下 1 階・地下 2 階の照明をエコ仕様に変更, 入れ替えました。
- ◆地下 2 階の旧書架を新しく入れ替え, 壁に固定しました。耐震も万全です。

## 👉 新規導入データベース紹介

### ◆Journal Citation Reports (JCR)

学術雑誌が他の文献に引用された回数, 他の文献を引用した回数, 学術雑誌が発行されてから引用されるまでの期間等の統計により学術雑誌の重要度・影響度を測る指標を提供します。

同じ Web サイトから, 文献管理ツールの EndNote Web も利用可能です。これにより文献情報をオンラインでデータベース化したり, 論文の参考文献リストを簡単に作成できます。SciFinder や PubMed など外部データも取り込むことができます。

詳細は図書館ホームページをご覧ください。

## ▶ 編集後記 ◀

今号の特集では「秋の夜長, 何を読む?」をテーマに, 作家たちの「心に残る一冊」や著名人の読書法を紹介しました。これらを参考に, この秋は読書にふけてみてはいかがでしょうか。

表紙・カットにご協力いただいた井上寛之さん, 射鹿(いるか)良太さん, ありがとうございます。

# 司書のお仕事

その6



## 図書館サービス



図書館でもっとも基本的な利用者サービスは、資料の閲覧と貸出、レファレンスである（レファレンス・サービスについては前号に掲載）。

本学図書館には、在学生・教職員・研究員だけでなく、卒業生や一般市民、附属中学・高校生も来館する。このようなサービス対象者が館内で自由に資料を手にとって選び、読んだり調べたりして利用することが閲覧である。ビデオやDVD、CDなどの視聴覚資料の場合は、館内で視聴ができるような施設と設備・機器を用意しておくことが必要になる。

また、期限を定めて手続きをして、本を館外に貸し出すことで、利用者はいつでもどこでも自由に利用することができる。

館内閲覧・視聴の申込みや貸出・返却の手続きは、メインカウンターや視聴覚カウンターで行っている。現在ではWebサービスを申し込めば、貸出期間の延長などは自宅からでもできるようになったが、多くの手続きはカウンターで利用者に向き合っている。利用者には公平・親切・

丁寧で、処理は迅速・確実に行うことがカウンターを担当する図書館員が心がけることであろう。

貸出・返却手続きの処理だけでなく、資料提供をスムーズに行うために、サービス担当職員は次のようなさまざまな仕事を並行して行っている。

その一つが予約の受付である。借りたい資料が貸出中のときは予約しておけば、返却後に優先的に借りることができるしくみである。とくにレポートの課題が出されたときや、定期試験期には予約が集中する。

また、貸出図書のリターン期限が過ぎた延滞者には、時期を逃さず電子掲示板や電話などで返却の督促



を行うことも大切なことである。利用者が貸出図書を紛失・汚損・破損して利用できない状態になった場合は、弁償の手続きをしてもらった後に、新たに同じ図書を購入するようにしている。

返却された図書を書架の所定の場所へ戻す作業や、毎朝三十分間サービス担当職員が全員で行う書架の整備、新着図書コーナーへの新刊書の展示

や新着雑誌の配架なども、利用者に資料を少しでも早く確実に届けるための欠かせない仕事である。

もっと大掛かりに毎年または数年に1回、所蔵資料の点検を各フロアの書架ごとに行うのが蔵書点検である。蔵書を一冊一冊点検して不明図書を探索し、見つからなかったものは最終的には除籍することで、所蔵資料の所在を明確にして探しやすい書架をつくりあげることができる。

館内環境に目を配って、フロア全体の動線を考慮しながら、閲覧室内をできるだけ見透しがきくように、閲覧席や書架の配置、わかりやすいサインなどを検討することも必要である。

また、利用者が資料に集中できるように、機器から出る音や話し声などの騒音対策も日常的に講じておかなければならない。

最後になったが、カウンター担当者を含めてすべての図書館員が強く意識しておくべきことは、利用者のプライバシーを守ることである。誰が何を借りたかという貸出記録や、延滞図書の督促の際も、書名は本人以外には決して明らかにしないよう、細心の注意を払わなければならない。



発行 京都産業大学図書館  
所在地 〒603-8555  
京都市北区上賀茂本山  
電話 (075) 705-1446